

教員免許状更新講習開設講習内容等一覧

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部

- ※ 受講者募集期間は令和元年6月17日～7月5日です。(ただし、定員に達した講習ごとに順次募集を終了します。)
- ※ 複数の講習番号・開設日が記載されている講習については、開設日を確認し、いずれか1つを選択してください。(同名の講習を複数受講することはできません。)
- ※ 以下、すべての科目について、1講習あたりの講習時間は6時間、受講料は6,000円です。
- ※ 「対象職種」欄を確認し、受講可能な講習を選択してください。
(教諭の方は、以下の科目すべて受講可能です。養護教諭・栄養教諭の方は受講可能科目が限られています。)
- ※ 「主な受講対象者」以外の学校種にお勤めでも、その講習を受講することは可能ですが、ご自身が勤務する上で活用頻度が低い内容を含む場合があります。

《必修領域(大学)》

講習番号	開設日	募集人数	開設講習名	講習概要	担当講師	対象職種	対象者
C-01	8月3日	200	【必修】教育の最新事情	学校現場の実態を踏まえながら、受講者のニーズに対応すべく、中学校校長経験者を含む教育学、幼児教育学、心理学を専門とする講師が担当する。学校を巡る諸問題、期待される教師像、子どもの発達に関する最近の知見やLD・ADHD等の特別支援教育、カウンセリングマインド等について理解を図る。	杉山 幸子 (八戸学院大学短期大学部幼児保育学科教授) 小野寺 實 (地域経営学部非常勤講師) 瀧澤 志穂 (健康医療学部非常勤講師)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員
C-02	12月24日	200					

《選択必修領域(大学)》

講習 番号	開設日	募集 人数	開設講習名	講習概要	担当講師	主な受講対象者		
						学校種	免許職種・教科等	職務経験等
K-01	8月4日	50	【選択必修】学校を巡る状況の変化と学校における危機管理	学校や教育に対する保護者や社会からの評価・要求が厳しいものとなっている。近年のこのような状況を理解し、これからの学校や教員としてのあり方を考える契機とする。また、災害発生時における児童生徒の安全や安心の確保、危機管理や命の尊さなどが、学校教育のみならず社会問題となっている。近年のこのような状況を踏まえて、個々の教員として、または組織としての対応方法について考える。	根城 隆幸 (地域経営学部教授)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない
K-05	12月25日	50						
K-02	8月4日	50	【選択必修】教育相談(いじめ・不登校への対応を含む)	今日、多様化する社会の動きの中で、児童・生徒は学校や家庭のほかあらゆる場面において多くの問題を抱えている。これらの解決や予防のため、今まで以上に学校での教育相談の必要性が問われている。本講習では、先生方の経験を活かし、さらに学校における教育相談の担い手としての役割を理解し、問題行動の理解と具体的な解決策・予防法、保護者との連携、相談システム、専門機関との連携等について学び、学校における「教育相談」の意義を多角的に検討する。また教育活動の本質を学際的アプローチで考察し、教員としての視野を広め、児童・生徒が充実した生活を送るための力量を高める学びの機会創出を目的とする。	鈴木 俊裕 (地域経営学部教授)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない
K-06	12月25日	50						
K-03	8月4日	50	【選択必修】キャリア教育の意義とその推進	キャリア教育に関して、学校現場の実態を踏まえながら、受講者の要望に対しその益に供すべく、演習を取り入れながら理解の深化を図る。特に、その意義や背景、生きる力や進路指導との関連性、小中高大での連携や家庭・地域との連携、キャリアデザインと生涯学習社会、生きることと働くこと、自校の3年後のありたい姿と現場での具体的な実践活動、また、キャリア教育の推進と課題などの観点から理解を図る。	柴垣 博孝 (地域経営学部教授)	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない
K-07	12月25日	50						
K-04	8月4日	50	【選択必修】園や学校と、家庭、地域との連携に求められていること	この講習では、現代の子育てや子どもを取り巻く家庭環境の状況について理解し、またその課題について考察することから始める。さらには、そうした家庭を、教育・保育機関がどのように支えるべきか、その具体的な取組はどうあるべきかを考えたい。また、学校教育、家庭教育、教育的資源としての地域社会が連携することが求められているが、そこで得られる子どもたちの育ちは何か、教師として得られるものは何か、その意義について改めて検証し、確認する時間とする。	差波 直樹 (八戸学院大学短期大学部幼児保育学科准教授)	幼稚園	特定しない	特定しない
K-08	12月25日	50						

《選択領域(大学)》

講習 番号	開講日	募集 人数	開設講習名	講習概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者
S-01	8月5日	60	【選択】栄養と健康	健康的な生活習慣についての知識と、実際の行動との間には大きな開きがあり、なかなか習慣が改められないのが現実である。そこで、日常生活で遭遇する事象から、生命科学を捉え直し、健康管理ができるようにする。毎日の食生活に役立つことも盛り込んで、人体のこと、生活習慣病について、学習する。	熊谷 晶子(健康医療学部教授) 井元 紀子(健康医療学部教授)	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校・特別支援学校教諭、中学校・高等学校保健体育科教諭、養護教諭、栄養教諭向け
S-21	12月21日	60					
S-02	8月5日	40	【選択】手軽にできる「ラグビー」の実践的指導	学校では、普段運動をする子としない子の「二極化」により、ボールゲームの授業づくりを難しいものになっています。この問題に対する取り組みとして、ラグビーが「中学校学習指導要領解説保健体育編」(平成33年4月から施行)に例示され、「小学校学習指導要領体育」(平成32年4月から施行)では第5・6学年のボール運動として明記されています。本講義では、ラグビーが『誰でも活躍できるボールゲーム』であることの体験、およびその指導法を学びます。	工藤 祐太郎(健康医療学部講師)	教諭	小学校・特別支援学校教諭向け
S-22	12月22日	40					
S-03	8月7日	60	【選択】教員のメンタルヘルス～陥りやすい心の不健康や疾患の知識と対処方法について～	教育は、教員と幼児・児童・生徒との人格的な触れ合いを通じて行われるため、教員が心身ともに健康を維持して教育に取り組むことが重要である。しかし、最近の教育現場においては精神疾患による教員の休職、また、休職に至らずとも心の不健康感をもちながら瀬戸際の状況で仕事をしている教員が存在している事が報告されている。本講義では、自身の性格や価値観、思考の癖などが影響する心の不健康感や感情表現についての理解を深め、教員自身の心の健康を幼児・児童・生徒へのより良い指導・対応へつなげるための方法について学ぶ。	木村 緑(健康医療学部准教授) 三浦 広美(健康医療学部講師)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員
S-23	12月22日	60					
S-04	8月8日	60	【選択】子どもによくみられる健康問題とその対処法	教室の中でよくみられる子どもの健康問題(体調不良、けが、てんかん、アレルギー性疾患、肥満、摂食障害など)の要因を理解し、それぞれの対処のしかた、その後の他機関との連携について考えることを目的とします。講習は、講義と演習(グループワーク)形式で行います。	田中 克枝(健康医療学部教授) 山野内 靖子(健康医療学部准教授)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校教諭向け、養護教諭向け
S-24	12月26日	60					
S-05	8月6日	50	【選択】どうしたらいいのか？ 小学校英語教育	小学校の英語教育の現状を把握した上で、教師が今後どのように英語授業を進めていけばよいかを考えます。与えられたカリキュラムと目的英語を確認し、活動のアイデア、教育戦略や教材を使って、児童が学びやすい授業を考察します。教室で使える基本の英語文を練習し、また音楽や教材を用いて、教師が実際のクラスで使えるように実践してみます。目的は教師が英語を使う自信をつけ、英語授業のアイデアや情報収集の仕方を取得することです。	グレゴリー・アンソニー (地域経営学部准教授)	教諭	小学校教諭向け
S-06	8月6日	25	【選択】体力を高めるための理論と実践	運動生理学、バイオメカニクスおよびトレーニング科学の知見等を踏まえながら、運動パフォーマンスの構成要素や体力を高める方法について解説します。さらに、体力・運動能力調査(体力テスト)および近年競技スポーツの現場で広く行われている体力測定(フィールドテスト)を活用した体力トレーニングの方法についても考えます。講習は講義と実技を行います。	渡邊 陵由(健康医療学部准教授) 高嶋 渉(健康医療学部准教授) 工藤 祐太郎(健康医療学部講師) 綿谷 貴志(健康医療学部講師)	教諭 養護教諭	小学校・特別支援学校教諭、中学校・高等学校保健体育科教諭、養護教諭向け
S-07	8月7日	40	【選択】ダンス・身体表現の指導法	ダンス必修化が平成20年度に中学校学習指導要領で告示されてから11年、平成24年度の完全実施から7年が経とうとしています。本講義では、ダンスおよび身体表現の概要を整理し、現代的なリズムのダンス、フォークダンス、表現・創作ダンスの学習から、ダンスの基礎的な技能を習得するとともに、授業の組み立て方から指導法について学びます。	佐貫 綾乃(健康医療学部講師)	教諭	幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校教諭向け

《選択領域(短大)》

講習番号	開講日	募集人数	開設講習名	講習概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者
S-11	8月5日	60	【選択】音声表現とコミュニケーション(話すこと、上手なコミュニケーション、教科で応用できる音読、朗読、アナウンスの指導)	声に出して表現すること・聞くことの大切さ、おもしろさを理解してもらおうと同時に、その具体的な方法について実践・ワークショップ方式を交えて参加者自ら体験してもらいます。また、人間関係の要となるコミュニケーションスキルの取得や、自己表現が苦手な児童・生徒に対する音声表現の指導方法、読解力を深める音読・朗読の指導方法について学びます。	茂木 典子 (幼児保育学科非常勤講師)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭、養護教諭向け
S-31	12月27日	60			三浦 文恵 (幼児保育学科非常勤講師)		
S-12	8月6日	60	【選択】児童虐待の発見と対応方法	増え続ける児童虐待が、子どもの健全育成の上で大きな課題となっている。児童虐待防止法に基づく虐待の定義、種類、件数などの基礎的な理解から、その発見方法、対応方法等について、児童相談所勤務経験から得た実際の事例を基に解説する。また、虐待が子どもの心や脳にどのような影響を与えるのか、発達障害と虐待の関係などについても触れ、家族再統合に学校がどうかかわれるかについても考えてみたい。	加藤 勝弘 (幼児保育学科准教授)	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校教諭、養護教諭向け
S-13	8月8日	60					
S-32	12月21日	60					
S-33	12月22日	60					
S-14	8月6日	50	【選択】音楽表現にかかわる実践的指導(子どもの発声・弾き歌い・合奏指導・指揮など)	子どもの資質を尊重した発声、指揮者として必要とされる弾き歌い、ソルフェージュを用いたイングリッシュハンドベル演奏、さらには音楽教育の意義を紐解きながら実践的に表現力の向上を学びます。合奏の指導法では鍵盤ハーモニカによる合奏を通して、曲のアナリーゼ、楽器の奏法、指揮、さらには曲のまとめ方等について、体験しながら講義を進めていきます。	附田 勢津子(幼児保育学科教授) 田端 利則(幼児保育学科教授) 中嶋 栄子(幼児保育学科准教授) 安田 美央(幼児保育学科講師)	教諭	幼稚園、小学校教諭向け
S-34	12月21日	50					
S-15	8月7日	28	【選択】上手な絵はやめて良い絵を描こう	描く上での「技術力」と「表現力」はしばしば混同されがちですが、上手に描かれていることと、素晴らしい表現になっていることはまったく違う状態なのです。本講習では子どもの表現力を引き出すために、美術史を教育の側面から捉え直し学ぶ座学、デッサンや素描、造形表現の自由度を学ぶ実技演習、最後に参加者が相互に成果を振り返る講評会の3部構成で行います。	池田 拓馬 (幼児保育学科講師)	教諭	幼稚園・小学校・特別支援学校教諭、中学校・高等学校美術科教諭向け
S-16	8月8日	28					
S-35	12月26日	28					
S-36	12月27日	28					
S-17	8月6日	30	【選択】児童文学の理解と読み聞かせの様々な手法	児童文学の簡単な理解から、絵本の持つ力や魅力を再発見し、読み聞かせの様々な技法を再度見直しスキルアップすることによって、現場における子ども達や保護者とのコミュニケーション力を個々が最大限に活かすことを目的に行う。	平間 恵美 (幼児保育学科非常勤講師)	教諭	幼稚園・小学校・特別支援学校教諭向け
S-37	12月27日	30					
S-18	8月8日	40	【選択】レクリエーション体験学習(コミュニケーションゲーム・ニュースポーツの活用法)	クラス等での一対一、あるいは集団の場面において、相互の親睦を深め、信頼関係を築くための簡単なゲームやその他の手法について、理論と実践方法を学びます。また、最近、健康づくりや参加者相互のコミュニケーションを活性化させるために用いられているニュースポーツについて、いくつかの種目を体験し、その活用法を学びます。	三岳 貴彦 (介護福祉学科講師)	教諭	幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校教諭向け
S-38	12月26日	40					